

## 第 2 回自治会分科会の議事概要

第 2 回江田島市公共交通協議会（自治会分科会）

日時：平成 21 年 12 月 18 日（金）午後 1 時 30 分～3 時

場所：江田島市役所 2 階会議室

内容：

**■各地区の現状・経緯について**

- ・ 候補に挙がっていないが、津久茂地区（江田島）も高低差があり、困っている人がいる。シニアカーの駐車施設整備等は、非常に良いのではないかと。
- ・ 旧江田島町時代には、切串地区や秋月地区（江田島）を対象に、公民館にあった温浴施設への送迎サービスが、週 1 回実施されていた。温浴施設がボイラーの故障で廃止されると同時に、送迎サービスも廃止された。
- ・ 大須地区、幸ノ浦地区、エセギ地区（江田島）については、切串の中心部へ乗合サービスを実施していた。
- ・ 沖美では、市のワゴン車をシルバーが運転し、斜面上の住宅地に住む寝たきりの高齢者を下の病院へ送迎していた。
- ・ 介護保険に切り替わった時点で、こうしたサービスは行政サービスから切り離された。
- ・ 利用者の中にも様々な方がおられるため、1つのサービスで全てに対処することは難しい。公共交通は福祉なサービスとは切り離して考える必要がある。
- ・ 福祉有償運送は、道路運送法で運送することができる。車いす等も対応できるので、検討する価値はある。

**■モデル地区の選定について**

- ・ 江田島町自治会連合会としては、大須、幸ノ浦、エセギ地区を是非モデルとしてやって頂きたい。
- ・ 沖美町自治会連合会は、協議会が発足する前から交通問題に取り組んでおり、アンケート調査も実施している。切実な問題であり、是非モデルとしてやって頂きたい。
- ・ 大柿も不便な地区はあるものの、江田島や沖美に比べると、モデル地区というほどではない。
- ・ 能美も一部路線が通っていない地区があるが、江田島や沖美に比べると、モデル地区というほどではない。

モデル地区の候補として、次のとおり決定

- 江田島町（大須、幸ノ浦、エセギ）
- 沖美町全域（詳細な地域については、自治会において検討）

## ■その他

- 地域での負担についても、他の地域の事例を見ながら考えて頂きたい。ただ、行政から強制するものではない。
- モデル地区での実証内容の今後の展開についても、市が地域と協働で取り組んでいくつもりである。
- 路線バスの停留所は、周辺施設の名前を付け、スポンサー費用を負担して頂くべきである。
- 連携計画骨子案について「海生交流都市」の定義がわかりにくい。基本方針にこのことばは使わない方が良いのではないか。
- 江田島市の公共交通で最も重要なのは船である。船に関する施策をもっと盛り込むべきでないか。原案では、2/3程度がバスに関する事業である。